フロアセントラル空気清浄換気システム

MEAS－A4C

取扱説明書（お客様用）

この度は、『フロアセントラル空気清浄換気システム（MEAS－A4C）』をご採用いただきまして誠にありがとうございます。
『フロアセントラル空気清浄換気システム』は、新方式の空気清浄機能を搭載したセントラル型の換気システムです。家全体を効率よく換気し、同時に、空気清浄も行うシステムです。
この説明書をよくお読みの上、正しい取り扱いを行って下さい。誤った取り扱いをしますと機器の破損や、性能不足など十分な効果が得られないことがございますのでご注意下さい。

【もくじ】

Topre 東プレ株式会社

1．安全に関する注意事項

このマニュアルに使用されている表示や禁止マークの意味

○説明を無視した使用方法によって生じる危険や損害の内容を下記の表示で区分しています。

：**警告**　死亡や重大な事故の発生が想定される内容

：**注意**　けがや物的損害の発生が想定される内容

○説明の要点を一目で理解できるよう絵表示を挿入しています。

：必ず実行していただきたい『**強制事項**』の内容

：避けていただきたい『**禁止事項**』の内容

：警告

●『フロアセントラル空気清浄換気システム』は、マイナスイオンとオゾンを同時発生させ居室の脱臭を行うシステムです。
発生するオゾンは極微量ですが、敏感な方の場合は臭気を感じることがあります。

●『フロアセントラル空気清浄換気システム』は、一般住宅の居室を対象とした換気システムであり、医療機器ではありません。医療目的での使用はしないで下さい。

●『フロアセントラル空気清浄換気システム』の換気量は、一般住宅の居室を対象としたシステムで、通常の生活に合わせた換気量の設定になっています。
極端に居住者が多い場合や、多量の臭気などの発生があった場合は、窓を開けるなど他の換気を併用して下さい。

●『フロアセントラル空気清浄換気システム』は、燃焼器具の換気用ではありませんので、開放型（室内排気型）ストーブや、コンロなどの燃焼器具をご使用になる場合には、窓を開けるなどの換気を併用して下さい。

●『フロアセントラル空気清浄換気システム』は、絶対に改造しないで下さい。
感電や火災の発生、異常動作による怪我の原因となります。

●空気清浄ユニットをメンテナンスする際は、必ず本体の電源を切って下さい。
また、メンテナンス中はイオン発生器部横にある安全スイッチを押さないで下さい。
機器の破損や感電による怪我などの原因となります。

：注意

●お手入れは、必ず本体の電源を切ってから行って下さい。指・髪の毛・衣服などが送風機に巻き込まれ、怪我などをする原因となります。

●お手入れの際は、必ず安定した台の上で作業を行って下さい。また、台の高さも作業のし易いものを使用して下さい。
作業中の台からの転倒・落下やそれらに付随する怪我や、物品の破損の原因となります。

●お手入れの際は、保護具（軍手など）を着用して下さい。本体金属部品などで怪我をする原因となります。

●濡れた手で【電源スイッチ】や【風量切換スイッチ】に触れないで下さい。
機器の破損や感電による怪我などの原因となります。

お願い

●熱交換器・フィルター・防虫ネット・空気清浄器は、『フロアセントラル空気清浄換気システム』の性能低下を防ぐために、２ヶ月に１度以上（目安）の定期清掃をして下さい。
（清掃サイクルは地域・場所により異なります。）

●熱交換器清掃の際、水洗いは絶対におやめ下さい。破損の原因となります。

●フィルター・防虫ネット清掃の際、水洗いした場合は、よく乾かしてからご使用下さい。
機器内に水分が入り、故障する恐れがあります。

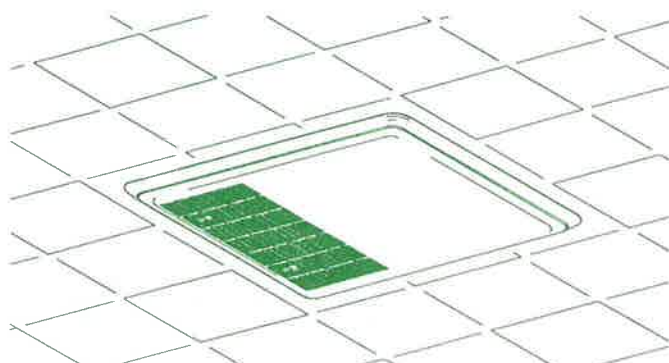
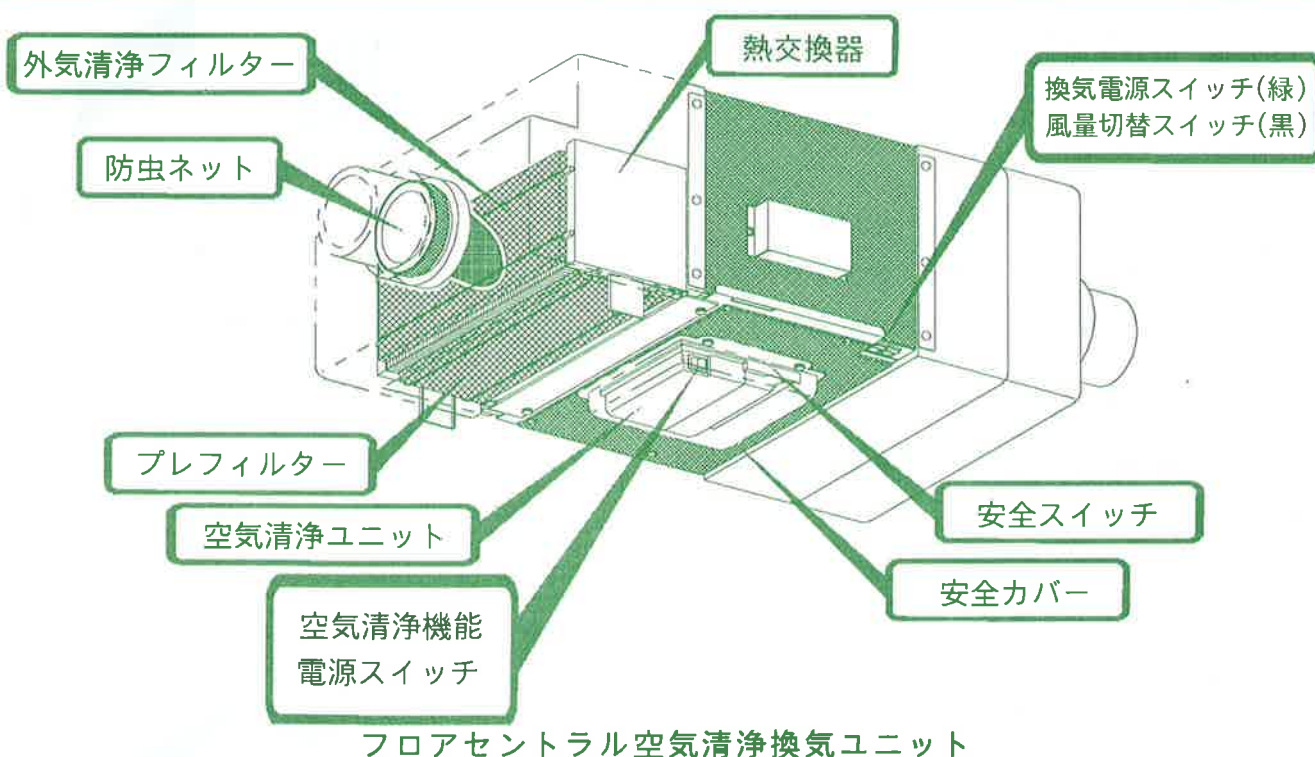
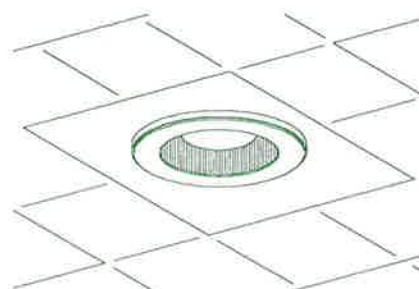
●フィルター・防虫ネットを水洗いした後に乾かす際、火にあぶることは絶対におやめ下さい。
変形や引火による怪我・火災の原因となります。

●フィルター・防虫ネットを熱湯で洗うことは絶対におやめ下さい。変形します。

●メンテユニットの水洗いは絶対におやめ下さい。
機器の破損や感電による怪我の原因となります。

●メンテユニット清掃の際は、洗剤などを使用しないで下さい。
機器の破損の原因となります。

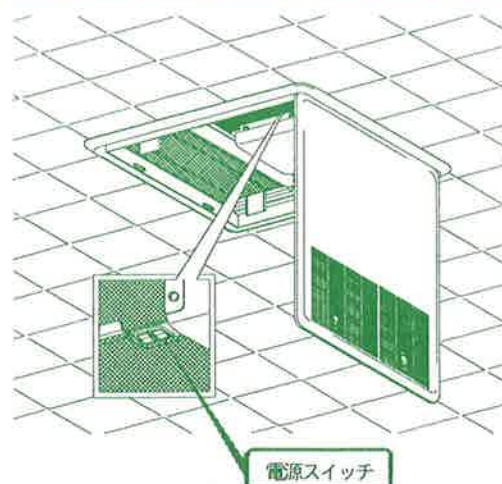
２．製品の名称

フロアセントラル空気清浄換気ユニット

吸い込みグリル

吹き出しグリル

3．操作方法

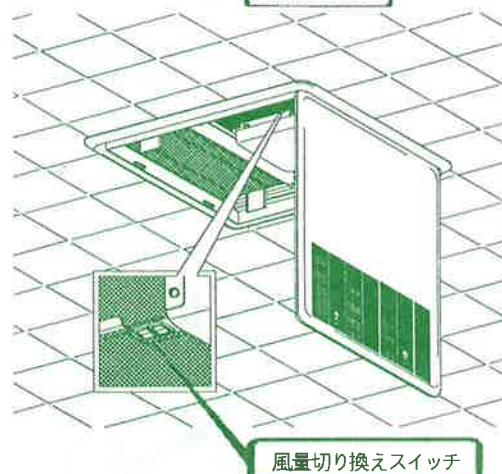
（１）運転の方法

本体下部にある緑色のスイッチが電源スイッチです。
【入】に切り換えると、運転を開始します。
【切】に切り換えると、運転を停止します。

※本スイッチは、空気清浄ユニットの運転スイッチと
　連動しています。

（２）風量の調節

●本体側での調節

本体下部にある黒色のスイッチが、風量切り換えスイッチです。工場出荷時より【強】に設定されています。
特に問題がない場合はそのまま御使用下さい。

運転音が非常に気になる場合には、風量切り換えスイッチを【弱】運転に切り換えてご使用下さい。
その際、換気量は減少します。

●吹き出しグリル側での調節

風が出すぎて気になる場合は、吹出グリルを回転させて風量を調節して下さい。
（グリルは全開位置で設置されています。）

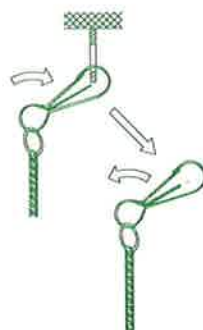
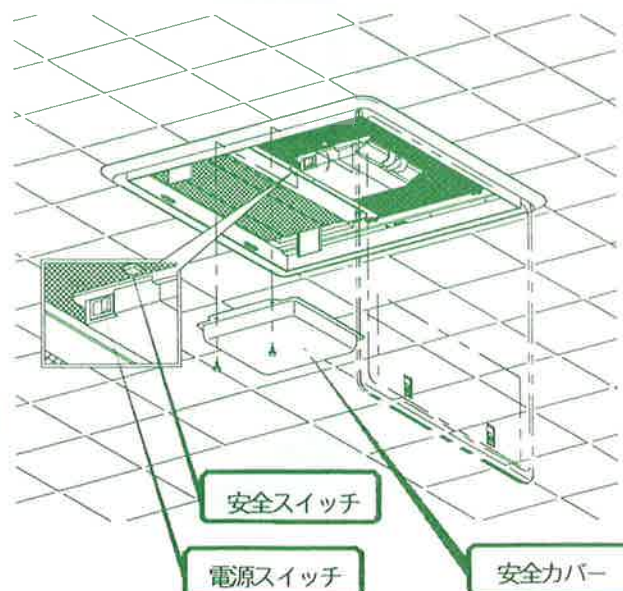
　左回転 → 開（風量 大）
　右回転 → 閉（風量 小）

吹き出しグリルを閉めた際、換気量は減少します。

（３）空気清浄機能

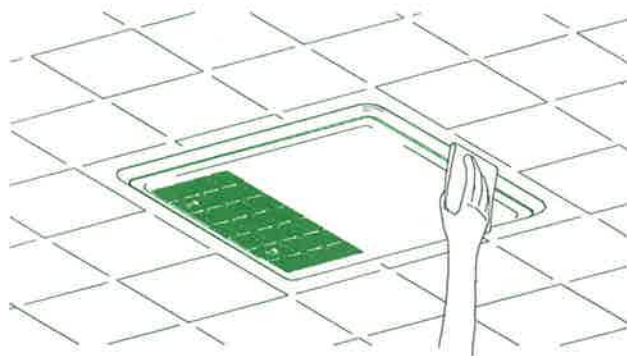
本体下部のカバーを外すと空気清浄ユニットがあり
その側面にスイッチがあります。
本スイッチを【入】にすると運転を開始します。
本スイッチを【切】にすると運転を停止します。
工場出荷時より【入】に設定されていますが、
不具合などがある場合は、運転を停止して下さい。
その際、換気の運転は停止しません。

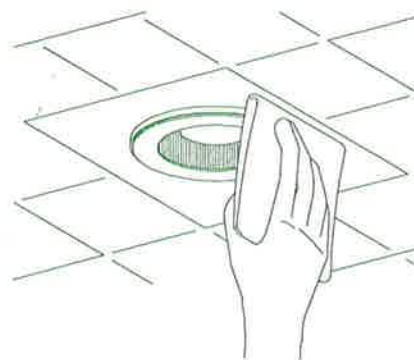
○落下支持チェーンの外し方

安全カバーに取り付いている『落下支持チェーン』は、基本的に外さないで下さい。
作業が行いにくい場合は、下図のように取り外し、部品の落下・台座などからの転倒に注意し作業の支障にならない場所に置いて下さい。

○安全スイッチ
メンテナンス時の電源の切り忘れを防止するためのスイッチです。
基本的に触らないで下さい。

※取付の作業は、逆の手順で行って下さい。

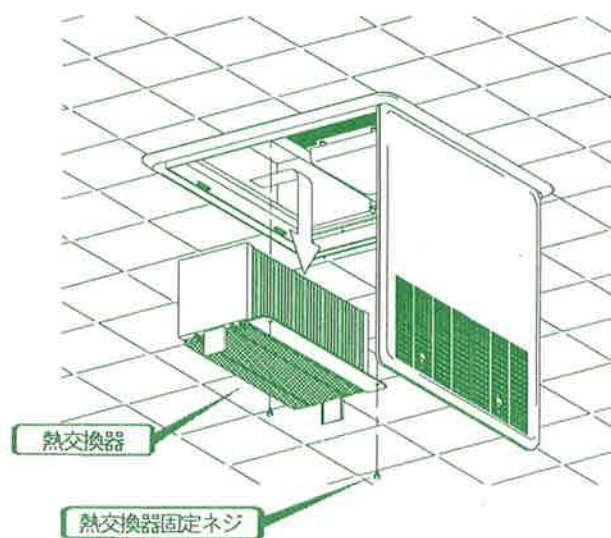
4．メンテナンス方法

（1）吸い込みグリルの清掃方法

水または中性洗剤を入れたぬるま湯に浸した布で汚れを拭き取った後、からぶきして下さい。

（2）吹き出しグリルの清掃方法

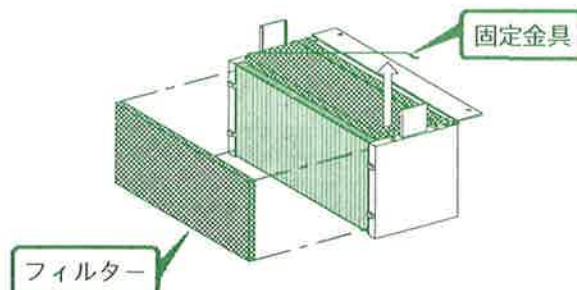
水または中性洗剤を入れたぬるま湯に浸した布で汚れを拭き取った後、からぶきして下さい。

（3）熱交換器・フィルターの清掃方法

●熱交換器のはずし方

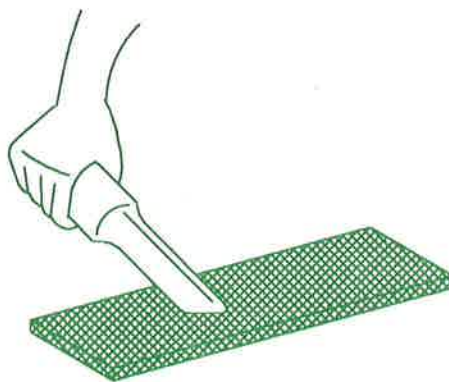
吸い込みグリルを開き、熱交換器の固定ネジ（2本）を取り外し、取っ手を利用し、熱交換器を引き出して下さい。

●フィルターのはずし方

フィルター固定金具を一度弓なりにし、上に引いて取り外して下さい。

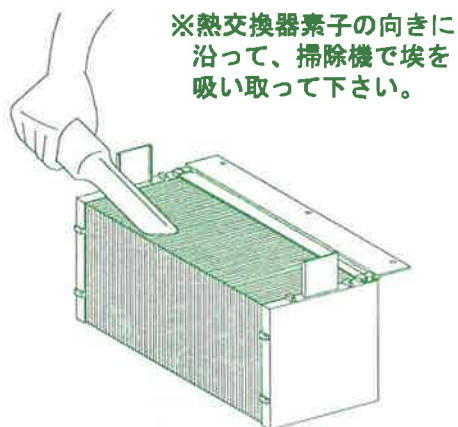
※フィルターは、以下の２種類が取り付けられています。

室外側：外気清浄フィルター（白色）
室内側：プレフィルター（黒色）

●フィルターの清掃方法

①フィルターの清掃は軽くたたくか、または、掃除機で埃を吸い取って下さい。

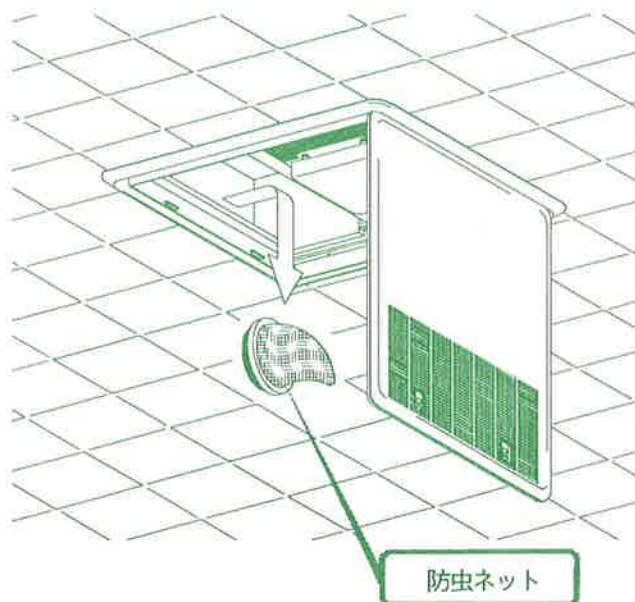
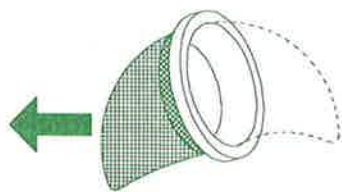
②汚れがひどい場合には、水または中性洗剤を入れたぬるま湯でかるく押し洗いして下さい。
清掃後は、よく自然乾燥して下さい。

●熱交換器の清掃方法

①熱交換器の清掃は、掃除機でかるく埃を吸い取って下さい。

②長い間御使用し汚れが落ちない場合には、新品への交換をお勧めいたします。

（４）防虫ネットの清掃方法

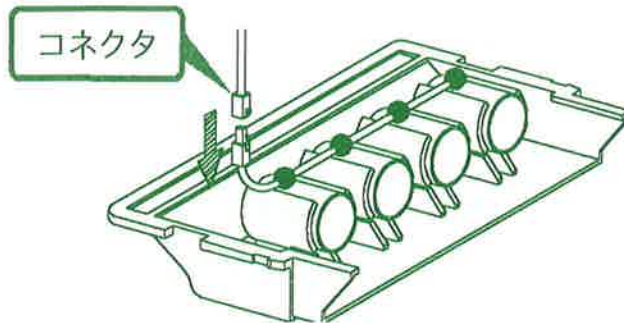
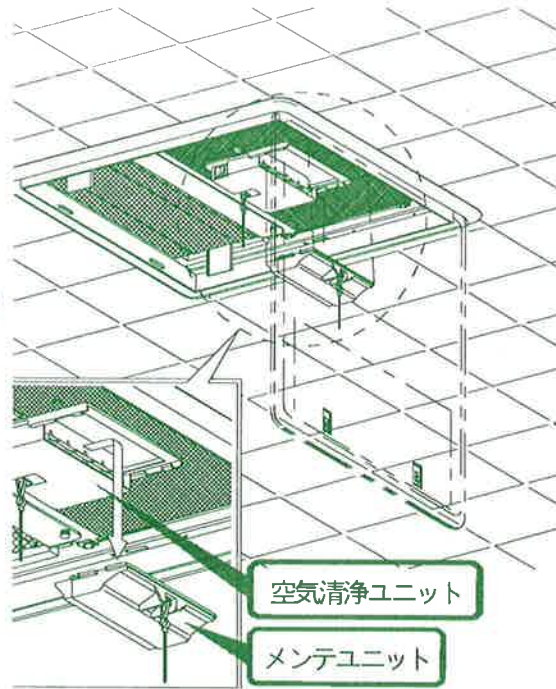
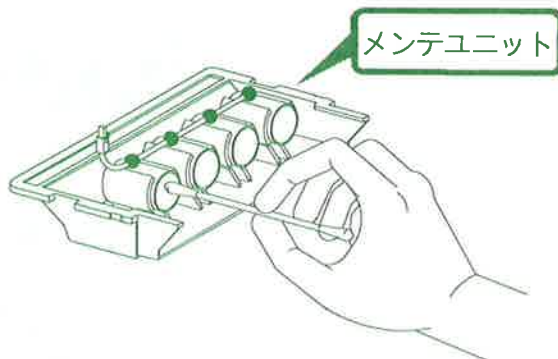
①熱交換器を取り外し、防虫ネットを取り外して下さい。

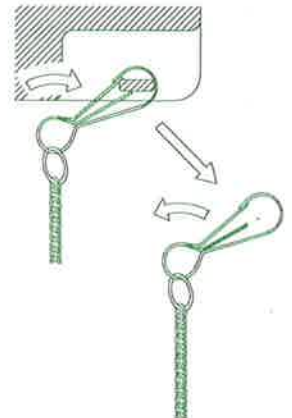
②中のゴミをゴミ箱などに捨てて下さい。

③ネットの汚れがひどい場合には、水または中性洗剤を入れたぬるま湯でかるく押し洗いして下さい。
清掃後は、良く乾かして（自然乾燥）して下さい。

ネットのはずし方

（５）空気清浄ユニットの清掃方法

①空気清浄ユニットよりメンテユニットを外して下さい。
（つまみに手をかけ、引き抜いて下さい。）

②コネクタを抜き取り、清掃を行って下さい。

③綿棒などで筒の内側に付いているゴミを拭き取って下さい。

○落下支持チェーンの外し方
メンテユニットに取り付いている『落下支持チェーン』は、基本的に外さないで下さい。
作業が行いにくい場合は、右図のように取り外し、部品の落下・台座等からの転倒に注意し、作業の支障にならない場所に置いて下さい。

※取付の作業は、逆の手順で行って下さい。

5．製品仕様

名　　称		フロアセントラル空気清浄換気ユニット			
定格電圧		ＡＣ１００Ｖ			
周波数（Ｈｚ）		５０		６０	
ノッチ		強	弱	強	弱
風量（m³／時）	単体	１２０	７０	１２０	７０
	ｼｽﾃﾑ	７５	４２	７５	４２
機外静圧（Ｐａ）		４４	２１	５４	２５
消費電力（Ｗ）		４６	３２	５６	３４
騒音値（ｄＢ(Ａ)）		３３	２５	３３	２５
温度交換効率（％）		約７０			
マイナスイオン発生量（個／ｃｍ³）		２０００～３０００（各給気口）			
オゾン発生量（ｐｐｍ）		最大０．０２（各給気口）			
外気用フィルター		重量法　８０％			
給気口		４口まで接続可(ｼｽﾃﾑ定格風量時　２０Ｐａ)			
周囲条件		周囲温度０～４０℃　相対湿度３０～９０％			
製品重量（ｋｇ）		９．４			

☆　１）風量－単体は機外静圧０Ｐａ時の測定値です。
　　２）消費電力は空気清浄ユニット部(6W)を含んだ値です。
　　３）消費電力、騒音値、温度交換率はｼｽﾃﾑ(施工状態)での測定値です。
　　　　また、上記の性能はホースの配管経路や本体設置位置等の諸条件により、上記数値は変化します。
　　４）騒音値は、本体直下１．５ｍの位置にマイクを設置し無響室で測定したものです。
　　　　設置場所によっては、反響等の影響を受け上記騒音値が変化します。

6．点検

ご使用中や、メンテナンス終了後に『故障かな？』と感じた場合にお読み下さい。

症　状	原　因	確認項目
●風が出ない ●風の出が悪い	①吹き出しグリルが閉まっていませんか？ ②電源が入っていますか？ ③フィルター、熱交換器、防虫ネットが目詰まりしていませんか？ ④ブレーカーが落ちていませんか？	①吹き出しグリルを回転させ、風が出ることを確認して下さい。 ②吸い込みグリルを開けて、電源が入っていることを確認して下さい。 ③フィルター、熱交換器、防虫ネットが目詰まりしていないか確認して下さい。 ④ブレーカーが落ちていないか確認して下さい。
●変な音がする	①熱交換器、吸い込みグリルは確実に取り付けられていますか？ ②フィルター、熱交換器、防虫ネットが目詰まりしていませんか？	①取り付け状況を確認して下さい。 ②フィルター、熱交換器、防虫ネットが目詰まりしていないか確認して下さい。
●換気ユニットが動かない	①電源が入っていますか？ ②ブレーカーが落ちていませんか？	①吸い込みグリルを開けて、電源が入っていることを確認して下さい。 ②ブレーカーが落ちていないか確認して下さい。
●空気清浄機能が働かない	①本体の電源は入っていますか？ ②空気清浄ユニットの電源は入っていますか？ ③安全カバーは付いていますか？ ④ブレーカーが落ちていませんか？	①吸い込みグリルを開けて、電源が入っていることを確認して下さい。 ②吸い込みグリル・安全カバーを開けて、空気清浄ユニットの電源が入っていることを確認して下さい。 ③吸い込みグリルを開けて、安全カバーが付いていることを確認して下さい。 ④ブレーカーが落ちていないことを確認して下さい。

※ 上記以外の症状が出ている場合、また、確認実施後症状の改善が見られない場合は、ディーラーまたは、巻末の連絡先までお問い合せ下さい。

Topre 東プレ株式会社

本　　社　〒103-0027　東京都中央区日本橋３－１２－２　Tel：０３－３２７１－０７１９
大阪営業所　〒550-0011　大阪府大阪市西区阿波座１－９－９　Tel：０６－６５３１－２７３０
相模原事業所　〒229-1133　神奈川県相模原市南橋本３－２－２５　Tel：０４２－７７２－８１１８
岐阜事業所　〒509-0306　岐阜県加茂郡川辺町下川辺３７２－７　Tel：０５７４－５３－２１８０

本説明書の内容は、機器の改善や改良により予告なしに変更する場合があります。